

治療はどうなるの？

災害発生直後から数日にかけては、病院の受け入れ態勢がストップしたり、道路や交通などの被害状況により通院できない可能性が出てきたりします。治療が中断することは、大きな不安となります。

治療が中断しても大丈夫？

乳がんの場合、1～2週間程度でしたら治療が先延ばしになっても病状が進行することはありません。「治療ができない」と焦らずに、まずはあなた自身の生活を整えることを優先してください。内服の抗がん剤は、手元にお薬があり、服用方法がきちんと分かっている場合は、体調が普段と変わらなければ服用を続けましょう。



病院の受け入れ態勢を知りたい

国立がん研究センターがん情報サービスや日本乳癌学会は、がん診療連携拠点病院を中心に、被災地の病院の受け入れ態勢や相談窓口の情報などをホームページで公開しています。また、全国がん患者団体連合会(全がん連)

でも、信頼できる情報リンク集などを発信しています。最新情報を得ることは、不安な気持ちなど心の負担の軽減にもつながります。

化学療法や放射線の治療中の方は、状況によっては転院を余儀なくされることがあります。担当医に相談し、受け入れ先の病院に連絡・連携してもらいましょう。

- 国立がん研究センターがん情報サービス
<https://ganjoho.jp/>



- 一般社団法人 日本乳癌学会
市民の皆さまへ
https://www.jbcs.gr.jp/modules/citizens/index.php?content_id=1



- 一般社団法人 全国がん患者団体連合会(全がん連)
<http://zenganren.jp/>



連絡が取れない場合は

さまざまな理由から治療中の病院やかかりつけ薬局と連絡が取れない場合は、上記のサイトから対応可能な病院へ問い合わせるか、避難所などで救護にあたる医療従事者にご相談ください。

(※サイト情報2022年6月時点)